

学年

教科等

単元等

活用アプリ

小4-中3

国語

百人一首に親しもう

オクリンクプラス

授業
内容

かるたとりを楽しみながら、短歌の言葉の響きやリズムに親しむ

準備：

- ・共有コードを使用してカードをすべて取得する。
- ・みんなのボードに「読み上げカード」「かるたとり会場」の2つのボードを用意する。
- ・かるたとりを実施する前に百人一首読み上げカードをみんなのボード「読み上げカード」に送り、子供たちで分担して読み札の音読を録画または録音をする。（「読み上げカードの準備」参照）
- ・「かるたとり会場」の背景に、カードから畳の画像をダウンロードして、背景に設定する。準備した取り札のカードをみんなのボード「かるたとり会場」に送信して並べる。（「かるたとり会場の準備」参照）

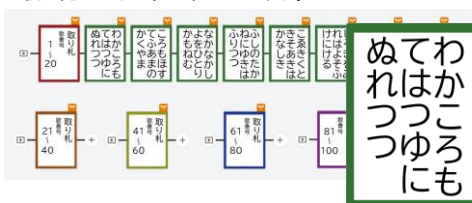
授業の流れ：

1. 先生は、みんなのボード「読み上げカード」にある百人一首読み上げカードから、読み上げる動画または音声を選んで再生する。再生ずみの歌は、ペンツールで印をつけておく。
2. 子供たちは、読み札の音読動画の音声を聞いて、取り札の「リアクションボタン」を押して札を取る。
3. 取られたカードは、畳の外に出すか色を変えておく。
※お手つきのリアクションを消したいときは、先生のみ取り消し可能

サポート
おすすめ
ポイント

- ・短歌の言葉の響きやリズムに親しみながら、教室で席に着いたまま、手軽に全員がかるたとりに参加でき、楽しんで学習することができます。
- ・リアクションボタンで札を取り合うことで、誰が先かの記録が残り、また、取り間違えやすい札を確認することもできます。

取り札カード（20枚×5セット）



百人一首読み上げカードの例



かるたとり会場の例

イラスト出典：いらすとや <https://www.irasutoya.com/>

共有コード

共有コードを入力、または
カメラを起動して
二次元コードを読み込む



pb01KDCM6XR0HXMSGGZQ14NER2TX

読み上げカードの準備

①みんなのボードを開き、「全員」のボード名の「…」をタップして「読み上げカード」に変更します。



②百人一首読み上げカードを、みんなのボード「読み上げカード」に送ります。

③歌を分担して、音読して録画または録音をして、百人一首読み上げカードに入れます。



百人一首読み上げカード 作成例



イラスト出典：いらすとや <https://www.irasutoya.com/>

マイク機能の録音データを「1」に置いた例



かるたとり会場の準備(1/2)

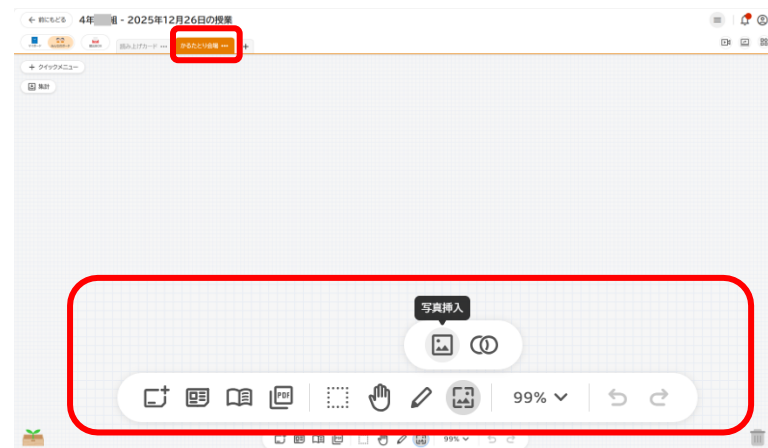
①共有コードを使用して、カードをすべて取得します。



②みんなのボードを開き、「+」をタップして、ボードを追加します。
「・・・」をタップして、「かるたとり会場」に変更します。



③かるたとり会場の背景画像をカードからダウンロードして、みんなのボードの「かるたとり会場」の背景に設定します。



かるたとり会場の準備(2/2)

④かるたとり使用する取り札を、みんなのボードの「かるたとり会場」に送ります。

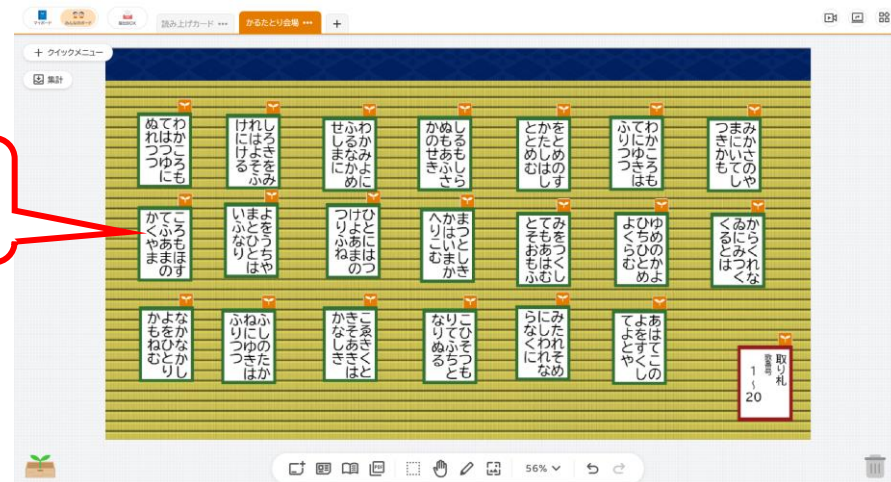
⑤取り札の大きさは変更せずに、畳の背景画像の大きさを調整して、背景画像をロックします。

人数や時間配分、見やすさ、
取りやすさを考慮して並べます。

※配置する際に、「+クイックメニュー」から
「自由配置」になっていることを確認します。



取り札を配置した例



★「かるたとり会場」を複製して複数用意し、班やペアで対戦することもできます。

